

事業コード	H30-建-新-03			区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	通常砂防事業			部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	砂防えん堤工			班 名	砂防防災班 (tel)018-860-2517
路線名等	茶の沢川			担当課長名	河川砂防課長 小野 久喜
箇所名	八峰町八森字滝の間			担当者名	主幹(兼)班長 佐藤 鉄也
プランとの関連	政策コード	01	政策名	県土の保全と防災力強化	
	施策コード	01	施策名	災害に備えた強靱な県土づくり	
	指標コード	03	施策目標(指標)名	県民の生命と財産を守る安全な地域づくり	

1. 事業の概要

事業期間	H31~H36(6年)	総事業費	4.0 億円	国庫補助率	50.00																																																																								
事業規模	○ 砂防えん堤2基(H=7.0m L=93.0m、H=6.0m L=126.0m)																																																																												
事業の立案に至る背景	<p>○ 茶の沢川は八峰町八森字滝の間地内に位置し、保全対象として人家42戸、国道101号(第2次緊急輸送道路)、県道樺台小入川線、JR五能線、公民館等を抱える土石流危険渓流である。</p> <p>○ 被害想定範囲には、人家が多く主要な交通施設もあることから、流域内を調査した結果、不安定な土砂・流木が堆積しており、今後の豪雨や融雪等により土石流が発生する可能性が高い。</p> <p>○ 土石流が発生した場合、人家への直接被害のほか国道101号等の公共施設に甚大な被害を及ぼす恐れがあり、土砂災害から人命・財産を守るため、砂防施設の整備が必要である。</p>																																																																												
事業目的	<p>【主たる目的】</p> <p>○ 砂防施設の整備により、下流の人家や重要な公共施設を保全し安全・安心な地域の創出を図る。</p> <p>【保全対象】</p> <p>○ 人家42戸 ○ 国道101号 L=0.4km ○ 鉄道 L=0.3km ○ 県道 L=1.2km ○ 公民館 等</p>																																																																												
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全 体</th> <th>H31年度</th> <th>H32年度</th> <th>H33年度</th> <th>H34年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>400,000</td> <td>30,000</td> <td>50,000</td> <td>80,000</td> <td>240,000</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>340,000</td> <td></td> <td>20,000</td> <td>80,000</td> <td>240,000</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>10,000</td> <td></td> <td>10,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>50,000</td> <td>30,000</td> <td>20,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>財源</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 国庫補助</td> <td>200,000</td> <td>15,000</td> <td>25,000</td> <td>40,000</td> <td>120,000</td> </tr> <tr> <td> 県債</td> <td>180,000</td> <td>13,500</td> <td>22,500</td> <td>36,000</td> <td>108,000</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 一般財源</td> <td>20,000</td> <td>1,500</td> <td>2,500</td> <td>4,000</td> <td>12,000</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td></td> <td>地形測量等 詳細設計</td> <td>用地補償 工事用道路</td> <td>砂防えん堤工</td> <td>砂防えん堤工 取付工</td> </tr> </tbody> </table>						全 体	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度以降	事業費	400,000	30,000	50,000	80,000	240,000	経費						工事費	340,000		20,000	80,000	240,000	用補費	10,000		10,000			その他	50,000	30,000	20,000			財源						国庫補助	200,000	15,000	25,000	40,000	120,000	県債	180,000	13,500	22,500	36,000	108,000	その他						一般財源	20,000	1,500	2,500	4,000	12,000	事業内容		地形測量等 詳細設計	用地補償 工事用道路	砂防えん堤工	砂防えん堤工 取付工
	全 体	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度以降																																																																								
事業費	400,000	30,000	50,000	80,000	240,000																																																																								
経費																																																																													
工事費	340,000		20,000	80,000	240,000																																																																								
用補費	10,000		10,000																																																																										
その他	50,000	30,000	20,000																																																																										
財源																																																																													
国庫補助	200,000	15,000	25,000	40,000	120,000																																																																								
県債	180,000	13,500	22,500	36,000	108,000																																																																								
その他																																																																													
一般財源	20,000	1,500	2,500	4,000	12,000																																																																								
事業内容		地形測量等 詳細設計	用地補償 工事用道路	砂防えん堤工	砂防えん堤工 取付工																																																																								
調査経緯	<p>○ 平成28年度 県単砂防事業 砂防流域調査業務</p> <p>○ 平成29年度 県単砂防事業 予備設計業務</p>																																																																												
上位計画での位置付け	○ 第3期ふるさと秋田元気創造プランにおける基本政策「県土の保全と防災力強化」を推進																																																																												
関連プロジェクト等	○ 特になし																																																																												
事業を取り巻く情勢の変化	<p>○ 平成26年8月に広島県で発生した土砂災害以降、土砂災害警戒区域等の指定によるソフト対策と施設整備によるハード対策が全国的に急務となっている。</p> <p>○ 県内において平成29年7月22~23日の豪雨では、がけ崩れ等による被害も多数発生している。年々、集中豪雨も増加しており、今後も同様な被害が多発する可能性があるため、ソフト・ハードの両面からの対策が重要である。</p>																																																																												
事業効果把握の手法	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th colspan="2">土石流危険渓流に対する概成率(%)</th> <th colspan="2">対策済み渓流数/土石流危険渓流数(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標式</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>指標の種類</td> <td colspan="2">○ 成果指標 ● 業績指標</td> <td>低減指標の有無</td> <td>○ 有 ● 無</td> </tr> <tr> <td>目標値 a</td> <td colspan="2">17.8 %</td> <td>データ等の出典</td> <td>河川砂防課調べ</td> </tr> <tr> <td>実績値 b</td> <td colspan="2">16.7 %</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率 b/a</td> <td colspan="2">93.8 %</td> <td>把握の時期</td> <td>平成30年 4月</td> </tr> </tbody> </table>					指標名	土石流危険渓流に対する概成率(%)		対策済み渓流数/土石流危険渓流数(%)		指標式					指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標		低減指標の有無	○ 有 ● 無	目標値 a	17.8 %		データ等の出典	河川砂防課調べ	実績値 b	16.7 %				達成率 b/a	93.8 %		把握の時期	平成30年 4月																																										
指標名	土石流危険渓流に対する概成率(%)		対策済み渓流数/土石流危険渓流数(%)																																																																										
指標式																																																																													
指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標		低減指標の有無	○ 有 ● 無																																																																									
目標値 a	17.8 %		データ等の出典	河川砂防課調べ																																																																									
実績値 b	16.7 %																																																																												
達成率 b/a	93.8 %		把握の時期	平成30年 4月																																																																									

2. 所管課の1次評価

観 点	評価の内容(特記事項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土石流が発生した場合、人家のみならず国道101号(第2次緊急輸送道路)や鉄道(JR五能線)が被災し、緊急時の交通手段確保が困難となるため、事業実施の必要性は高い。 ○ 砂防法第5条により工事の施行は都道府県が行うものと位置付けられている。 	30点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当該溪流は崩落土砂・流木が堆積しており、今後の豪雨や融雪等により土石流が発生する危険性が高いため、早急な整備が必要である。 	25点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設を整備することにより、土石流災害から人命や財産が守られ、下流域の安全性が短期間に確保される。 ○ 土石流危険溪流に対する整備率向上に直接寄与する事業であり、施策目標への貢献度は高い。 ○ 第3期ふるさと秋田元気創造プランの施策を直接的に推進する内容の事業である。 	10点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の費用便益比は8.80であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 3.94 億円 ・総便益の現在価値 34.66 億円 ○ 事業実施においては、残存型枠使用によるコスト削減等の検討を行う。 	15点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨今の集中豪雨による各地の被害や、土砂法による土砂災害警戒区域の指定を受け、八峰町の防災意識が高く、事業への必要性を強く認識している。 ○ 八峰町から、施設整備の要望書が提出されている。 	10点
判 定	ランク (●I ○II ○III)	90点
	多くの項目において評価点が高く、住民の生命・財産だけではなく、重要な公共施設を保全するため必要性が高い。	
総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留	
	評価結果から事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
/	

4. 財政課長意見

意見内容	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
/	

5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業実施は妥当である。	

6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

計画的な実施に努める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

--

公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所評価
適用基準名 砂防事業

事業コード (H30-建-新-03)
箇所名 (八峰町八森字滝の間)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	災害発生時の影響(被害想定)	人家戸数	20戸以上	10	10	・人家42戸
			5戸～19戸	7		
			1戸～4戸	3		
			0戸	0		
	公共・公益施設	以下に挙げる公共・公益施設がある 災害時要援護者関連施設 重要交通(緊急輸送道路、避難路、鉄道等) 防災拠点(警察、消防、役場等) ライフライン施設(電力、ガス、水道等) 利用者多数(学校、駅舎等)		10	10	・国道101号(第2次緊急輸送道路) ・鉄道(JR五能線) ・公共・公益施設(公民館)
			公共・公益施設がある	5		
			なし	0		
	事業の必要性					
	事業の必要性	流域との必要性	法令等で県が実施する事業	5	5	・砂防法により県が施行する工事
			県が実施すべき広域的な事業	3		
	県が実施した方が望ましい事業	1				
	流域の整備状況					
流域の整備状況	砂防設備の整備状況	未整備	5	5		
		低い(土砂整備率30%以下)	3			
		低い(土砂整備率30%超)	1			
計			30	30		
緊急性	災害実績					
	過去の災害発生履歴	過去に災害の発生した記録がある	10	0		
		過去に災害の発生した痕跡や情報がある	5			
		なし	0			
	災害発生の危険度					
	想定される流出土砂量	1000m3以上	7	7	・計画流出土砂量15,200m3	
		1000m3未満	3			
	想定される流出流量	20m3以上	6	6	・計画流出流量440m3	
		20m3未満	3			
	荒廃面積	流域面積の10%以上	6	6	・荒廃率12%	
流域面積の10%未満		3				
河床堆積、溪岸侵食状況	破砕帯、火山噴出物地帯、花崗岩地帯、第三紀層地帯	6	6	・第三紀層地帯		
	その他	3				
計			35	25		
有効性	上位計画への貢献					
	ふるさと秋田元気創造プラン	プランに関連する事業である	5	5	・「県土の保全と防災力強化」を推進する事業	
		プランとは別の個別計画に関連する事業である	3			
		プラン、個別計画に関連しない事業である	0			
	ソフト対策との関連性					
公表周知している情報の内容	土砂災害防止法に係る基礎調査	5	5	・土砂災害警戒区域・特別警戒区域指定済み		
	土砂災害危険箇所マップ等	3				
	なし	0				
計			10	10		
効率性	費用対効果					
	B/C	1.0以上	10	10	・B/C=8.80	
		1.0未満	0			
	事業実施コストの縮減					
コスト縮減の具体的計画	あり	5	5	・残存型枠施工等の採用を検討し、縮減を図っていく		
	なし	0				
計			15	15		
熟度	事業着手の熟度					
	地元のニーズ	文書要望あり	5	5	・八峰町からの要望書あり	
		口頭要望あり	3			
		なし	0			
	関係自治体等との合意形成	合意形成が済んでいる	5	5	・事業への協力について、理解を得ている	
合意形成がなされる見込みである		3				
合意形成がなされていない		0				
計			10	10		
合計				100	90	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	判定ランクIであり、事業実施箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		